

部課名		下水道部下水道経営総務課											
課の使命		・市民に安全で衛生的な生活環境を提供するために、下水道事業の進捗管理を行い、効率的で健全な下水道事業経営を行います。 ・下水道部各課の情報を迅速に共有し、関係部署との調整を行い、部内の円滑な業務遂行を図ります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	経営 改革 プラン	「未来につなぐ下水道事業プラン」に基づく進捗確認及び評価分析	「未来につなぐ下水道事業プラン(町田市下水道事業経営戦略) 26-35」に基づき事業の進捗確認及び経営の健全性や効率性、施設の老朽化の状況などの評価分析を行います。	進捗確認及び評価分析	実施								
2	事務 事業 見直し	下水道事業の民間活力導入に関する検討	①水分野における官民連携事業の先行導入自治体の事例を調査・研究し、昨年度作成した町田市のスキーム素案について導入効果の検証を行います。また、市内事業者の参画手法等の導入課題について、解消に向けた仕組みの検討を行います。 ②先行自治体の事例を参考に、昨年度に引き続き事業者との意見交換を行い、適正な事業スキームを作成します。	①事業スキーム素案の効果・検証及び課題解決手法の検討 ②事業スキームの作成	①実施 ②完了								
3	事務 事業 見直し	安定した下水道事業経営のための下水道使用料の見直し	将来を見据え安定した下水道事業経営を継続するため、下水道使用料の見直しを行います。	下水道使用料の改定	改定								
4	個別 計画	下水道事業継続計画(下水道BCP)等の災害対応計画に基づく管理・運用及び訓練や研修の実施	下水道事業継続マネジメント部会を開催し、災害時対応等について検討します。大規模災害が発生した場合でも、下水道が果たすべき機能を速やかに、かつ高レベルで確保するため、部内で訓練や研修を実施します。	訓練や研修の実施回数	4回								
5	全庁で 取り組む 施策	「子どもにやさしいまちの実現」	下水道の仕組みや下水道使用料の改定などについて、ホームページや下水道広報紙、イベント等を通じ、子どもの視点を取り入れたより分かりやすい情報提供を行うことで、下水道事業に関する一層の理解促進を図ります。	市民等への情報発信回数	5回								
6	人材 育成	「目的志向」	下水道事業の基礎知識や経営意識の向上を図るため、新入職員、異動職員や部内の職員に向けた部内研修を実施します。	部内研修の実施回数	2回								

部課名		下水道部下水道整備課											
課の使命		・豪雨による浸水や地震による被災への備えと対策を強化し、災害に強いまちづくりを進め、安心な暮らしを築きます。 ・水路や河川の水質向上を図り、快適な住環境を確保するため、汚水管と合併処理浄化槽による整備を進めます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 ブ	雨水管の整備	浸水被害を軽減するために、雨水幹線や枝線の工事を行います。(南町田五丁目(Ⅰ工区))	浸水対策事業における 完了箇所数	1箇所 (累計2箇所)								
2	重点 事業 プラン	下水道管の耐 震化	①雨水管の実施設計を実施し、次年度の耐震化 工事に向けた準備を行います。 ②重要な幹線等のうち、液状化発生が予測される 地域に布設された汚水管について、耐震化状況を 確認するための耐震診断を行います。	①雨水管実施設計 ②汚水管耐震診断延長	①1箇所 ②3.0km								
3	個 別 計 画	下水道管の改 築更新	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行 うため、「管路修繕・改築計画」をもとに、改築工事 を実施します。また、詳細設計を発注し、次年度の 改築工事に向けた準備を行います。	改築工事延長	2.6km (累計12.4km)								
4	事務 事業 見 直 し	下水道事業の 民間活力導入 に関する検討	①水分野における官民連携事業の 先行導入自治 体の事例を調査・研究し、昨年度作成した町田市 のスキーム素案について導入効果の検証を行いま す。また、市内事業者の参画手法等の導入課題に ついて、解消に向けた仕組みの検討を行います。 ②先行自治体の事例を参考に、昨年度に引き続き 事業者との意見交換を行い、適正な事業スキーム を作成します。	①事業スキーム素案の 効果・検証及び課題解 決手法の検討 ②事業スキームの作成	①実施 ②完了								
5	事務 事業 見 直 し	事業の縮小 (合併処理浄 化槽設置事業 補助金制度の 変更)	「町田市公共用水域水質改善10ヶ年計画」に基づ き、合併処理浄化槽への転換に伴う補助制度の見 直しを行います。	①町田市合併処理浄化 槽設置事業補助金交付 要綱の改正 ②制度改正の周知	①要綱改正 ②周知								
6	人 材 育 成	「チャレンジ志 向」	「町田市職員人材育成総合プラン25-29」に基づ き、最新技術や先進手法に関する研修会などに参 加します。	研修会への参加	2回								
7	全 庁 で 取 り 組 む	「障がい者への 差別を解消し 共生社会の実 現」	障がい者への理解促進のため、研修へ参加し、課 内職員への周知を行います。	課内全員に共有	課内全員								

部課名		下水道部下水道管理課											
課の使命		「水」が滞りなく流れるよう予防保全型の維持管理を進め、安定的な機能確保を図り、啓発活動を通じて市民の皆様とともに「良好な水環境」を次世代につなげます。 ・下水道施設(管渠、水路、調整池等)の維持管理を適切に行います。 ・下水道施設を計画的に修繕し、老朽化による破損を未然に防ぎます。 ・下水道施設のパトロールを行い、豪雨による浸水被害を軽減します。 ・下水道施設、宅内排水設備の適切な設置を指導します。 ・適正に下水道台帳を閲覧できるようにします。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計 画	ストックマネジ メント(※)によ る下水道事業 の推進 (※ストックマ ネジメント:良 好な下水道 サービスを継 続的に提供す るための事業 運営)	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行い、今後増大する維持管理コストの平準化を図るため、基本計画に基づき、「町田市下水道管路施設資産管理第3期調査実施計画」による点検・調査を行います。	劣化状況の 点検・調査延長	5.4km								
2	個別 計 画	対象水路の点 検	2023年度に策定した点検要領に基づき点検を実施します。点検結果を基に、水路構造物の劣化状況をとりまとめます。	点検延長	6km								
3	人材 育 成	「改革・改善志 向」	労働災害防止のため、下水道維持管理に必要な酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者の技能講習を受講し、資格取得を推進します。あわせて、職員の危険回避に関する知識と技能を向上させるため、講習内容を課内で共有する研修と酸素欠乏測定器の取扱い習熟のための研修を実施します。	①酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者の新規 取得者数 ②酸欠乏症等の回避知 識及び測定器取り扱い に関する研修の開催	①2人 ②2回								
4	個別 計 画	下水道GISの 有効活用	下水道GISの更新で実装された新機能を活用し、管路維持管理情報の可視化と更新計画の精度向上を図ります。 システム更新を行う委託事業者と調整してExcel報告書のフォーマットを作成し、GISへインポートすることで、維持管理情報の登録作業を効率化します。	Excel報告書の作成	作成完了								
5	事務 事業 見 直 し	下水道事業の 民間活力導入 に関する検討	①水分野における官民連携事業の 先行導入自治体の事例を調査・研究し、昨年度作成した町田市のスキーム素案について導入効果の検証を行います。また、市内事業者の参画手法等の導入課題について、解消に向けた仕組みの検討を行います。 ②先行自治体の事例を参考に、昨年度に引き続き事業者との意見交換を行い、適正な事業スキームを作成します。	①事業スキーム素案の 効果・検証及び課題解 決手法の検討 ②事業スキームの作成	①実施 ②完了								
6	全 庁 で 取 り 組	「ゼロカーボン シティまちだ」	管渠及び水路の維持管理業務委託において、作業完了時に提出される報告書を電子化します。	作業報告書の電子化	完了								

部課名		下水道部水再生センター											
課の使命		・下水処理施設の計画的な点検・調査・改築更新の実施、耐震化の促進により施設の機能を維持することで、市民が快適に生活できる環境を整えます。 ・再生可能エネルギーの活用や下水の高度処理の導入など、環境負荷の少ない下水処理場の運営を進め、地球環境の保全と循環型社会へ貢献します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	成瀬クリーン センターの耐 震化	水処理棟(1系最初沈殿池)の耐震補強工事を実施します。 ※水処理棟については、地下構造物の耐震化工事を実施します。(地上部は耐震化済)	工事進捗率	25%								
2	重点 事業 プラン	成瀬クリーン センターの減 災対策	減災対策として簡易放流施設の工事を実施します。	工事進捗率	25%								
3	重点 事業 プラン	鶴見川クリーン センターの耐 震化	汚泥処理棟他の耐震診断を実施します。	診断進捗率	100%								
4	重点 事業 プラン	鶴川ポンプ場の耐震化	ポンプ棟の耐震診断を実施します。	診断進捗率	100%								
5	個別 計画	ストックマネジメント計画(第Ⅱ期)に基づいた下水道事業の推進	設備の詳細調査を行い、劣化状況、重要度に応じた修繕計画を作成することで、維持管理コストの平準化を図っていきます。	詳細調査の実施件数	10件 (第Ⅱ期累計50/50件)								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
6	個別 計画	下水処理水の 水質向上	①老朽化した散気装置(※)を交換することで効率化を図ります。 ※汚水を処理するため、微生物の活動に必要な空気を反応タンクに送り込む装置。 ②2021年度から実施しているB-DASH技術に関する自主研究テーマ7件のうち、取組み中の2件について、研究テーマの実施完了を目指します。 また、これまで実施してきた自主研究の結果をまとめ、技術導入ガイドライン(※)を改定します。 ※B-DASHプロジェクトNo.38「単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術導入ガイドライン(案)」	①高効率散気装置の導入率 ②自主研究テーマの実施完了件数	①67%(累計) ②2件								
7	全庁で 取り 組 む 施策	「ゼロカーボン シティまちだ」 に向けた取組	①町田市第5次環境配慮行動計画に基づき、2030年度末までに2013年度比で、温室効果ガス排出量を59%削減するとともに、焼却炉の高温焼却運転によりN2O排出削減等の取り組みを実施します。 ②省エネルギー性能に優れた汚泥焼却炉に更新するため、2021年度から行っている汚泥焼却設備工事(2021～2026年度)を引き続き実施します。	①温室効果ガス排出量の削減率 ②汚泥焼却設備工事進捗率	①53%以上 ②100%(2026年度完了予定)								
8	事務 事業 見直し	業務・事務の 効率化	下水処理場間の脱水汚泥運搬業務の運用方法及び維持管理方法を検討します。	運用方法の検討 維持管理方法の検討	運用等の決定								
9	事務 事業 見直し	下水道事業の 民間活力導入 に関する検討	①水分野における官民連携事業の 先行導入自治体の事例を調査・研究し、昨年度作成した町田市のスキーム素案について導入効果の検証を行います。また、市内事業者の参画手法等の導入課題について、解消に向けた仕組みの検討を行います。 ②先行自治体の事例を参考に、昨年度に引き続き事業者との意見交換を行い、適正な事業スキームを作成します。	①事業スキーム素案の効果・検証及び課題解決手法の検討 ②事業スキームの作成	①実施 ②完了								
10	人材 育成	「改革・改善志向」	職員の業務スキルの向上 下水道事業、水再生センター事業の理解を深めるため、業務スキル向上に繋がる研修を課内で実施します。	開催回数	1回								